

統計調査ニュース

令和5年（2023年）11月

No.444



Data StaRt Award～第8回 地方公共団体における統計データ利活用表彰～

統計データ利活用センター長

田中 久睦

統計の日となる10月18日、「Data StaRt Award～第8回 地方公共団体における統計データ利活用表彰～」の受賞団体を決定、公表いたしました。

「統計データ利活用表彰」は、客観的な統計データに基づいた確かつ効率的な行政運営を促進する観点から、統計データを利活用した優れた取組を進める地方公共団体に対する表彰を行うものとして、平成28年度から実施しており、今年度で8回目を迎えました。本事業に対しては、これまでも多くの地方公共団体の皆様に御協力をいただいております。今年度は、全国から52取組という多数の御応募をいただきました。内容としても、行政施策の立案や行政サービス改善、人材育成の取組など多岐にわたるものとなっております。

審査の結果選ばれた、総務大臣賞、統計局長賞及び特別賞は次のとおりです。

【総務大臣賞】

富山県

「主観的・多面的・持続的な『ウェルビーイング（well-being）』を捉える指標の策定と向上施策の展開」

【統計局長賞】

岡山県

「調査用封筒の切り替えに向けた検証」

【特別賞】

大阪府豊中市

「市政データ利活用で企業立地促進施策の効果検証を可視化」

兵庫県神戸市

「EBPMで創る人口戦略」

長崎県

「『つながる長崎』データ連携基盤整備事業」

統計データ利活用センターも設立から5年が経過しました。これまで地方公共団体のデータ利活用を推進するため、様々な取組を行ってきました。その成果が、この表彰にも現れてくるとと思っています。

過去5回分の表彰を振り返ると、これまで145の地方公共団体に応募いただきました。最も多く応募をいただいたのが、滋賀県の10取組で、次いで和歌山県の9取組になります。応募の状況をみると毎回新たな地方公共団体に多く応募いただいております。こうした地方公共団体の皆様の頑張りは、我々にとっても大きな励みになります。

統計データ利活用センターは、これからも皆様と連携して、データ利活用を推進してまいります。引き続きの御支援を賜りますようお願い申し上げます。

【Data StaRt ⇒ <https://www.stat.go.jp/dstart/>】

目次

Data StaRt Award

～第8回 地方公共団体における統計データ利活用表彰～ 1

統計研修生募集の御案内

ー 令和5年度第4四半期(令和6年1～3月)ー 2

統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」を御活用ください!

／「令和5年秋の叙勲」 3

令和5年度統計データアナライズセミナーを開催しました 4

「2023年度 統計関連学会連合大会」等に参加して 5

▶▶▶ 統計研修生募集の御案内 ◀◀◀

ー 令和5年度第4四半期(令和6年1～3月)ー

総務省統計研究研修所では、国・地方公共団体の職員（教員を含む。）及び政府関係機関の職員に対し、統計作成の中核を担う統計人材の育成、統計を政策の立案等に活用するための統計リテラシーの向上などを目的として、様々な研修を実施しています。

令和5年度第4四半期（令和6年1～3月）に実施する研修は下記のとおりです。研修内容の詳細や募集締切りについては、府省等、都道府県及び市区町村に別途送付する「統計研修の募集要項」又は統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」を御覧ください。

令和5年度第4四半期に実施する研修について

	研修課程名	主な対象者	開催時期	実施方法	研修概要
業務レベル別研修	統計データアナリスト研修（上級）				
	統計データアナリスト研修	国家公務員のうち ①統計データアナリスト認定を目指す者 ②統計データアナリスト補認定を受けている者	3月上旬 【5日間】	ライブ	上級研修として、統計の根拠法令、品質管理、統計精度の担保など管理者に必要な知識を学ぶ
	統計実務職員（統計データアナリスト補）研修（中級）				
	統計利用の基本	①初級研修を受講済みの者 ②国家公務員のうち、統計データアナリスト、統計データアナリスト補認定を目指す者	2月上旬～3月中旬のうち4週間	オンライン	中級研修として、既存のデータやグラフから要因、結果、状況を読み解く手法を学ぶ
	調査設計の基本				中級研修として、統計調査の企画立案、調査設計の流れ、根拠法令を学ぶ
	統計分析の基本				中級研修として、自身でデータを分析、考察する際に必要な統計的分析手法を学ぶ
	統計取扱業務担当職員向け研修（初級）				
統計担当者向け入門	①「初めて学ぶ統計」の受講者 ②新規採用職員、統計初学者	2月上旬～3月中旬のうち4週間	オンライン	統計行政関係部署に新たに就いた者にとって必要な、統計データの入手、グラフによる可視化、利用の仕方を学ぶ	
初めて学ぶ統計	新規採用職員、統計初学者			これから統計利用を始める者にとって必要な、基礎的な統計リテラシー、統計制度を学ぶ	
分野別研修	データ利活用コース				
	政策立案と統計	①EBPMに興味のある者 ②施策立案部門の担当者	2月上旬～3月中旬のうち4週間	オンライン	政策立案と統計の関連性を学び、PDCAサイクルにおける統計の重要性を認識するとともに、実務における統計データのいかし方を学ぶ
	政策評価と統計				PDCAサイクルにおける政策の事後的評価の観点から、統計の活用方法を学び、またアンケートによる効果測定の際に必要な基礎知識を習得する
	ビッグデータ利活用ー基礎から応用までー	ビッグデータの利活用に興味のある者			データの分析手法、可視化について実例を学び、ビッグデータからデータ分析する意義、目的について習得する
	データサイエンス入門	データサイエンス初学者			これから統計利用を始める者にとって必要な、データの活用のされ方、データの見方など、データの利用方法について学ぶ
	データサイエンス演習	データサイエンス入門の受講者・修了者			入手したデータの分析演習などを通し、得られたデータからどのようなことが分かるのかを実践的に学ぶ
	誰でも使える統計オープンデータ	オープンデータをこれから利用する者			e-Statの使い方など、公的統計データの入手の仕方からオープンデータの利用方法を学ぶ
	人口・経済統計コース				
	社会・人口統計の基本	人口統計を用いた推計、分析に興味のある者	2月19日～20日 【2日間】	集合	人口統計などを参考に、人口関連統計の分析の仕方、社会分析の仕方、統計解析ソフトRを用いた実践的な分析手法を学ぶ
	マイクロデータコース				
	マイクロデータ分析のためのプログラミングー統計解析ソフトRの利用方法ー	R以外の他言語でのプログラミング経験があり、これからRを使用する者	2月13日～15日 【3日間】	集合	統計解析ソフトRの一般的な使い方を、テストデータやコードを用いて学ぶ
	マイクロデータ分析ーRによる統計解析ー	Rを用いた分析を行う者	1月23日～26日 【4日間】	集合	統計解析ソフトRのより高度で実践的な分析手法をマイクロデータを用いた演習を通して学ぶ

※ 各研修の日程、内容等は変更になる場合があります。

問合せ先 総務省 統計研究研修所 研修企画課
TEL 042-320-5874
E-mail o-kenkikaku@soumu.go.jp

統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」を御活用ください！

総務省統計研究研修所では、統計研修担当者及び研修受講希望者の利便性を図るため、国家公務員及び地方公務員に向けた統計研修の受講案内等を掲載した統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」を開設していますので、積極的な活用をお願いします。

【統計研修ポータルサイト（統計研修ひろば）】

<https://t-kenshu-om.soumu.hq.admix.go.jp/portal/index.html>

※閲覧には、政府共通ネットワーク又は総合行政ネットワーク（LGWAN）に接続する必要があります。

〈統計研修ポータルサイト（トップページ）〉



【統計研修ポータルサイト掲載項目（主なもの）】

- 統計研修内容の御案内
(募集案内、開催予定、シラバス等)
- 研修受講記
- 受講申込方法
(募集要項、推薦書様式等)
- 自主学習用教材
- 統計研究研修所の概要

「令和5年秋の叙勲」

政府は、11月3日に、「秋の叙勲」の受章者を発令しました。

総務省における統計関係では、永年にわたり国勢調査を始め各種統計調査に調査員として従事し、調査実施に多大な貢献をした次の方々が、勲章の榮譽に浴されました。栄えある受章にお祝い申し上げます。

【勲章受章者】

○瑞宝単光章

淡路 堅一	(北海道)
佐々木 正嘉	(北海道)
長崎 修一	(北海道)
廣部 健二	(北海道)
松尾 幸人	(北海道)
佐々木 栄治	(青森県)
成田 文廣	(青森県)
大菅 惇	(岩手県)
佐々木 恵子	(岩手県)
加藤 恒悦	(宮城県)
黒田 八重子	(宮城県)
珍田 奎	(秋田県)
渡邊 利和	(秋田県)
一條 孝之	(福島県)
菅野 嘉吉	(福島県)
座間 美紀子	(茨城県)
斉藤 晴規	(栃木県)
小金澤 和子	(群馬県)
新島 照代	(埼玉県)

※敬称略

渡邊 喜美子	(埼玉県)
渡邊 祥子	(埼玉県)
青木 淳子	(千葉県)
大庭 小夜子	(千葉県)
小林 健一	(千葉県)
鈴木 康弘	(千葉県)
阿部 勝利	(東京都)
石原 九二一	(東京都)
小倉 智恵	(東京都)
迫田 次子	(東京都)
佐野 千鶴	(東京都)
常盤 フサ子	(東京都)
柳瀬 千壽子	(東京都)
石井 百合子	(神奈川県)
政木 房子	(神奈川県)
松田 多美子	(福井県)
山浦 美恵子	(長野県)
小池 洋子	(岐阜県)
鈴木 よしゑ	(静岡県)
相羽 小枝子	(愛知県)
神山 茂代	(愛知県)

鈴木 道世	(愛知県)
石垣 明美	(三重県)
奥村 あつ子	(京都府)
伊達 浩子	(兵庫県)
田村 ユクエ	(兵庫県)
仲村 利雄	(兵庫県)
増田 サダ子	(奈良県)
仁木 千恵子	(和歌山県)
田中 婦美子	(島根県)
川越 和子	(岡山県)
大下 光子	(広島県)
綿永 隆子	(山口県)
上田 貞子	(徳島県)
西浦 雅子	(徳島県)
三谷 英子	(香川県)
高田 照子	(愛媛県)
小澤 千矢子	(福岡県)
森内 安博	(長崎県)
清田 志壽代	(大分県)
渡邊 民子	(宮崎県)

令和5年度統計データアナライズセミナーを開催しました

総務省政策統括官（統計制度担当）室では、都道府県統計主管課の職員を対象に、統計分析手法を習得していただき、公的統計データ等の分析結果に基づく地域における政策立案に資することを目的に、毎年度、統計データアナライズセミナーを実施しています（共催：総務省統計研究研修所、委託事業者：株式会社Rejoui）。

1. セミナーの概要

令和5年度統計データアナライズセミナーは、令和5年9月26日（火）に、42名の各都道府県における統計主管課職員の方々に御参加いただき開催しました。本年度についても、Web会議ツール（Webex）を活用した、全面オンラインによるセミナーを開催しました。

なお、本年度は、「統計取扱業務担当職員向け研修（初級）」（総務省統計研究研修所）と重複する基本統計量の解説等を簡略化し、統計データ分析に用いる主要な統計分析手法の知識・技能を習得させるための講義及び実践的な統計分析演習を実施し、分析結果から何を読み取るかについて重点的にグループワークを組み込み、講義を行いました。

2. セミナーの様子

○講義：「統計・データ利活用の基礎/EBPMの実現/分析プロセス」について

（講師：株式会社Rejoui 菅 由紀子氏）

菅講師より、統計・データ利活用の基礎、行政機関におけるEBPMの推進やEBPMの実現事例、PPDACサイクルについて御説明いただきました。統計の概論から、身近な広告データなどの話題を絡めて具体的に解説いただきました。受講者からは、「データ利活用プロセスの資料の内容については、正しくデータを利活用するために必要な知識である。」といった声が聞かれました。

○演習Ⅰ：「データの可視化と読み解き」について

（講師：株式会社Rejoui 菅 由紀子氏）

菅講師より、可視化データの活用例やデータの見方についてポイントを御説明いただいた後、「空・雨・傘」の思考フレームを活用し、実際に茨城県の観光データを使用して、グループに分かれて分析を行いました。

○演習Ⅱ：「分析計画立案」について

（講師：株式会社Rejoui 菅 由紀子氏）

人口減少をテーマの一つの自治体を舞台として現在自治体が抱えている問題や現状のデータ等を確認しながら仮説を立て、その仮説検証に必要なデータについて、グループ内で討議し探し出す演習を行い、グループ内で積極的な意見交換をする様子が見られました。

○演習Ⅲ：「統計分析演習」について

（講師：株式会社Rejoui 菅 由紀子氏）

菅講師より、集計の基礎、統計的仮説検定、相関分析、回帰分析、地図上の可視化、について御説明いただき、Excelを用いて実際に集計や分析について個人及びグループに分かれて演習を行いました。

3. セミナーを終えて

実施後のアンケートでは、講義、演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲのそれぞれについて、「6.大いに満足/十分に理解」「5.満足/ある程度理解」「4.やや満足/幾分理解」「3.やや不満/あまり理解していない」「2.不満/ほぼ理解していない」「1.大いに不満/全く理解していない」の選択肢の中から、講義及び演習の内容を評価していただきました。

表 受講者アンケート結果

Q 講義・演習の内容はいかがでしたか？

区 分	講義	演習Ⅰ	演習Ⅱ	演習Ⅲ
4 以上	97.6%	100%	92.9%	85.7%
5 以上	81%	66.7%	54.7%	47.6%

Q 講義・演習の理解度はいかがでしたか？

区 分	講義Ⅰ	演習Ⅰ	演習Ⅱ	演習Ⅲ
4 以上	100%	95.2%	90.5%	76.2%
5 以上	81%	66.7%	54.8%	38.1%

Q 本セミナー全体の理解度はいかがでしたか？

区 分	本セミナー全体の理解度
4 以上	98%
5 以上	45.2%

その結果、講義・演習のそれぞれについて、おおむね4以上の評価をいただいたものの、特に演習の理解度については5以上の評価が5割程度という結果となりました。本年度は、昨年度より講義時間を短縮してグループ討議の時間を多く確保し、また、新たに統計的仮説検定の講義を組み込んだところ、「グループ討議では何を議論し、何を導くのかグループ員で共有できず混乱し議論が停滞した。」「仮説検定について、検定した結果の解釈の仕方について、もっと説明が欲しいと思った。」などの御意見もあり、今後の課題として挙げられます。そのほか、アンケートでいただいた御意見・御要望についても、今後の本セミナーの企画や運営においていかしてまいりたいと思います。

今回の受講者の方々には、公的統計データ等を駆使した地域分析によって、地方の課題を明確にし、課題解決のための仮説を政策部局に提供するという、政策立案の流れを作っていただくことが期待されています。本セミナーが受講者の方々にとって少しでも有意義なものになりましたら幸いです。

「2023年度 統計関連学会連合大会」等に参加して

統計局、政策統括官（統計制度担当）、統計研究研修所及び独立行政法人統計センターは、統計技術の研究その他統計の改善発達に資することなどを目的として、統計関連の6学会に団体会員として加盟し、毎年、各学会が主催するいくつかの大会において、研究成果を発表し、情報発信を行っています。

ここでは、9月に「2023年度統計関連学会連合大会」及び「経済統計学会（第67回）全国研究大会」が開催されましたので、その概要を紹介します。

I 2023年度 統計関連学会連合大会

9月3日（日）から9月7日（木）にかけて、「2023年度統計関連学会連合大会」が京都大学（京都市）において開催されました。

本大会は、応用統計学会、日本計算機統計学会、日本計量生物学会、日本行動計量学会、日本統計学会、日本分類学会の6学会の主催により開催されています。

今年度の大会の構成は、以下のとおりです。

- チュートリアルセッション、○市民講演会、
- プレナリーセッション、○コンペティション講演、
- 企画セッション、○一般講演

統計局等からは、以下のテーマについて、発表講演を行いました。（敬称略）

【9月4日（月）】

13:00 ～ 15:00 一般講演【経済経営統計（1）】

- COVID-19に伴う家計支出ウエイト変動がインフレ率計測に及ぼした影響（14:00～14:20）
篠崎 公昭（政策統括官（統計制度担当））

【9月5日（火）】

13:00 ～ 15:00 一般講演【ミクロデータ】

- 差分プライバシーに基づく攪乱の手法の適用可能性の検討—国勢調査を例に—（13:40～14:00）
加藤 駿典（統計局総務課）
伊藤 伸介（中央大学）
寺田 雅之（NTTドコモ）
- 統計センターが提供する公的統計のミクロデータ利用サービスについて（14:20～14:40）
宮崎 美佳（（独）統計センター）
- 事業所・企業系の公的統計を対象にした合成データの生成技法に関する検討—経済センサスを例として—（14:40～15:00）
横溝 秀始（統計研究研修所）
伊藤 伸介（中央大学）

13:00 ～ 15:00 一般講演【公的民間統計（1）】

- 令和3年建築工事費調査の調査設計と利用について（13:00～13:20）
小川 友彬（政策統括官（統計制度担当））
- 第Ⅳ期公的統計基本計画とデジタル化の統計的把握（13:20～13:40）
孕石 真浩（政策統括官（統計制度担当））
- 国勢調査の補定方法に関する一考察（13:40～14:00）
北原 昌嗣（統計局国勢統計課）

15:30 ～ 17:30 一般講演【公的民間統計（2）】

- 消費者物価指数における季節調整法の比較（15:30～15:50）
大島 敬士（統計局消費統計課物価統計室）
- 統計センターにおける欠測値補完に関する研究の一事例（15:50～16:10）
村田 一郎（（独）統計センター）
- 民間データを利用した世帯の消費支出のリアルタイム予測について（16:30～16:50）
櫻井 智章（財務省（前統計局消費統計課））
鶴島 元樹（統計局消費統計課）

【9月6日（水）】

15:30 ～ 17:30 企画セッション【統計改革の新地平—経済活動の構造変化をどのように捉えるか—（2）】

- 経済構造統計のこれまでの発展と今後の取組—経済構造実態調査の創設から—
樽松 良祐（統計局経済統計課）

15:30 ～ 17:30 企画セッション【アカデミックにおける多様性と多様性推進の取り組みについて】

- パネルディスカッション：学会・大学・官庁における多様性の現状と多様性推進の今後の取り組み
橋本 梨花子（政策統括官（統計制度担当））

II 経済統計学会（第67回）全国研究大会

9月7日（木）から9月8日（金）にかけて、「経済統計学会（第67回）全国研究大会」が静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ（静岡市）において開催されました。

今年度の大会の構成は、以下のとおりです。

- 企画セッション、○一般報告、○特別講演
- 政策統括官（統計制度担当）からは、以下のテーマについて、発表報告を行いました。（敬称略）

【9月7日（木）】

16:00 ～ 17:30 一般報告【自由論題Ⅱ】

- デジタル化の統計的把握（16:00～16:30）
萩野 覚（政策統括官（統計制度担当））
- 複数領域統合型世帯調査について（16:30～17:00）
藤原 彦次郎（政策統括官（統計制度担当））

最近の数字

		人 口		労 働・賃 金			産 業		家計(二人以上の世帯)		物 価	
		総人口 (推計による人口)	就業者数	完全失業率 (季節調整値)	現金給与総額 (規模5人以上)	鉱工業 生産指数 (季節調整値)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数		
										全国	東京都都区部	
		千人(Pは万人)	万人	%	円	2020=100	兆円	円	円	2020=100	2020=100	
実数	2023. 5	124477	6745	2.6	284,998	103.2	31.5	286,443	345,527	105.1	105.1	
	6	P 12452	6785	2.5	461,811	105.7	P 33.1	275,545	725,550	105.2	105.1	
	7	P 12456	6772	2.7	380,063	103.8	P 32.5	281,736	513,069	105.7	105.5	
	8	P 12454	6773	2.7	281,714	103.1	P 32.2	293,161	449,278	105.9	105.6	
	9	P 12445	6787	2.6	P 279,304	P 103.3	...	282,969	398,754	106.2	105.8	
	10	P 12434	...	...	...	...	...	...	...	...	P 106.8	
前年 同月比	2023. 5	—	0.2	* 0.0	2.9	* -2.2	4.3	-4.0	-7.4	3.2	3.2	
	6	—	0.4	* -0.1	2.3	* 2.4	P 3.8	-4.2	-5.1	3.3	3.2	
	7	—	0.3	* 0.2	1.1	* -1.8	P 4.4	-5.0	-6.4	3.3	3.2	
	8	—	0.3	* 0.0	0.8	* -0.7	P 5.4	-2.5	-5.4	3.2	2.9	
	9	—	0.3	* -0.1	P 1.2	* P 0.2	—	-2.8	-4.7	3.0	2.8	
	10	—	0.3	* -0.1	P 1.2	* P 0.2	—	-2.8	-4.7	3.0	2.8	

(注) P：速報値 *：対前月
家計（二人以上の世帯）の前年同月比は実質値

掲示板 統計関係の主要日程（2023年11月～2023年12月）

《会議及び研修関係等》

時 期	概 要	時 期	概 要
11月1日	オンライン統計研修【第3回】統計取扱業務担当職員向け研修「初めて学ぶ統計」開講（～28日）	11月15日	オンライン統計研修【第3回】統計取扱業務担当職員向け研修「統計担当者向け入門」開講（～12月12日）
〃	オンライン統計研修【第3回】統計実務職員（統計データアナリスト補）研修「統計利用の基本」開講（～28日）	〃	オンライン統計研修【第3回】統計実務職員（統計データアナリスト補）研修「統計分析の基本」開講（～12月12日）
〃	オンライン統計研修【第3回】データ活用コース「政策立案と統計」開講（～28日）	〃	オンライン統計研修【第3回】データ活用コース「データサイエンス演習」開講（～12月12日）
〃	オンライン統計研修【第3回】統計作成実務コース「国民・県民経済計算」開講（～28日）	〃	オンライン統計研修【第3回】データ活用コース「誰でも使える統計オープンデータ」開講（～12月12日）
8日	オンライン統計研修【第3回】統計実務職員（統計データアナリスト補）研修「調査設計の基本」開講（～12月5日）	〃	オンライン統計研修【第3回】統計作成実務コース「産業連関表の作成・分析」開講（～12月12日）
〃	オンライン統計研修【第3回】データ活用コース「政策評価と統計」開講（～12月5日）	12月6日	第71回全国統計大会
〃	オンライン統計研修【第3回】データ活用コース「ビッグデータ活用－基礎から応用まで－」開講（～12月5日）	19日	地域分析コース「地域分析」開講【集合】（～21日）
〃	オンライン統計研修【第3回】データ活用コース「データサイエンス入門」開講（～12月5日）	〃	事例でひも解く ビジネスパーソン向け統計データ活用セミナー【ライブ配信】
		月内	登録調査員中央研修

《調査結果の公表関係》

時 期	概 要	時 期	概 要
11月7日	家計調査(家計収支編：2023年9月分及び2023年7～9月期平均)公表	12月中旬	2023年科学技術研究調査結果公表
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：2023年9月分及び2023年7～9月期平均 ICT関連項目：2023年7～9月期平均)公表	20日	人口推計(2023年7月1日現在確定値及び2023年12月1日現在概算値)公表
〃	消費動向指数(CTI)2023年9月分及び2023年7～9月期平均公表	21日	住民基本台帳人口移動報告(2023年11月分)公表
10日	労働力調査(詳細集計)2023年7～9月期平均公表	22日	消費者物価指数(全国：2023年11月分)公表
〃	小売物価統計調査(ガソリン)2023年10月分公表	〃	小売物価統計調査(全国：2023年11月分)公表
20日	人口推計(2023年6月1日現在確定値及び2023年11月1日現在概算値)公表	26日	労働力調査(基本集計)2023年11月分公表
21日	第73回日本統計年鑑(令和6年)刊行	28日	サービス産業動向調査(2023年10月分速報及び2023年7月分確報)公表
24日	消費者物価指数(全国：2023年10月分)公表	31日	統計トピックス「辰年生まれ」と「新成人」の人口-令和6年 新年にちなんで-公表
〃	小売物価統計調査(全国：2023年10月分)公表	月内	経済構造実態調査(2022年四次集計結果)公表
28日	住民基本台帳人口移動報告(2023年10月分)公表		
30日	サービス産業動向調査(2023年9月分速報及び2023年7～9月期速報並びに2023年6月分確報及び2023年4～6月期確報)公表		
12月1日	労働力調査(基本集計)2023年10月分公表		
5日	消費者物価指数(東京都区部：2023年11月分(中旬速報値))公表		
〃	小売物価統計調査(東京都区部：2023年11月分)公表		
8日	家計調査(家計収支編：2023年10月分)公表		
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：2023年10月分)公表		
〃	消費動向指数(CTI)2023年10月分公表		
〃	小売物価統計調査(ガソリン)2023年11月分公表		

編集発行



総務省統計局

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1

総務省統計局 統計情報利用推進課 情報提供第一係

TEL 03-5273-1160 E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp

ホームページ <https://www.stat.go.jp/>

御意見・御感想をお待ちしております。